

介護プロフェッショナル

段位認定の評価項目を活用 ～傾聴ボランティア研修への展開～

開催場所：港区立特別養護老人ホーム 白金の森

白金の森は港区社会福祉協議会と連携し、傾聴ボランティア向けに研修会を定期的に開催しています。様々な専門職が主体となって実施し、その中でアセッサーである遠藤介護課長は段位認定の評価項目を取り入れた研修を行っています。



アセッサー
遠藤 昌利

■研修実施の背景

背景1 傾聴ボランティアさんにご入居者を理解してもらうことで、関わりやすくしてもらいたい。

背景2 日頃ご入居者が地域社会との関わりが少ないという現状がある中、傾聴ボランティアさんを通じて互いに必要とされる存在になってもらいたい。

背景3 専門職の知識を伝え、地域での傾聴活動においても「やりがい」と「達成感」を持ってもらいたい。

■傾聴ボランティアレベルアップ研修

遠藤課長による「認知症高齢者の理解について」の研修は、段位認定評価項目にある「利用者特性に応じたコミュニケーションができる」を活用して実施し、レベルアップにつながっています。



ボランティアさんからの声

お話しする以外にも(生活面の向上)役に立てることがわかりよかった。



遠藤課長のコメント ▶ 今回は、評価項目にある「利用者特性に応じたコミュニケーションができる」のチェック項目を傾聴ボランティアさんへの研修に活用し、ボランティアさんのレベルアップにつながりました。そこで改めて研修を通じて自分自身も「ご入居者への話の聞き方、伝え方、向き合い方」を見直すことができました。

地域貢献活動 ▶ コミュニティカフェ特集 ～第6回目～

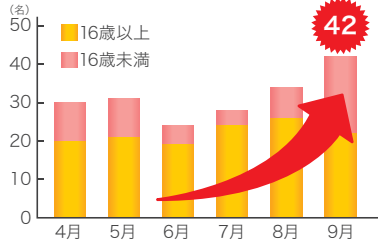
■センター豊玉、ご利用者、障害者、地域関係者が一体運営する交流食堂「じゅげむ」

開催場所：はつらつセンター豊玉(練馬区)

開催日：毎月第3火曜日18時～19時 参加費：16歳以上300円、16歳未満無料

はつらつセンター豊玉にはコミュニティカフェが併設されています。カフェの運営はNPO法人あんずの家(就労継続支援B型事業所)が行っており、センター豊玉と様々な事業を協働開催しています。今回は毎月第3火曜日に開催している、夕食提供事業 交流食堂「じゅげむ」をご紹介します！

【交流食堂「じゅげむ」参加者数推移】



「じゅげむ」は多世代交流を目的としており、16歳未満のこどもは無料で参加できます。調理はあんずの家、食材は地元野菜を提供するJA東京あおば様、会場準備から配膳、後片付けまでをセンターご利用者が担当。現在は子どもの参加者も増え、会場はいつもたくさんの笑顔で満ち溢れています。



法・人・最・新・情・報

【30年度以降開催のユニットリーダー研修実地研修施設】に かわいの家 が指定されました！

※一般社団法人日本ユニットケア推進センターより選定

社会福祉法人 奉優会 特別養護老人ホームかわいの家(横浜市旭区)では、平成23年度より『地域から愛される施設』となるため、ユニットケア(居宅に近い居住環境の下、居宅における生活に近い日常生活の中で行われる生活単位と介護単位を一致させたケア)を推進し、ユニットリーダー研修実地研修施設を目指し取り組んで参りましたが、今年8月に行われた調査の結果、平成30年度以降のユニットリーダー研修の実地研修施設として**横浜市では唯一**(平成29年10月現在)指定されました。



選定施設を目指しユニットケアに関する外部研修に参加したり、実地研修施設の見学、内部研修を多数開催するなどし、施設全体で取り組んで参りました。これがゴールではなく、継続してユニットケアの推進を図り、来年度より自信を持って実習生受入れが出来るよう、継続して取り組んで参りたいと思います。

施設長 河合 久仁子



【ユニットリーダー研修とは】

ユニットリーダー研修は、「ユニットケア施設の各ユニットにおいて指導的役割を担う職員(ユニットリーダー)」を育成するもので、建物、ケア、チームケア、体制の基礎と、ユニット内におけるリーダーシップマネジメントの在り方を実践的に学習します。実地研修施設は全国で65か所(29年度)です。

フォーユー新聞 2017 November Vol.7 2017 11月30日発行 社会福祉法人 奉優会(ほうゆうかい) 法人事務局 154-0012 東京都世田谷区駒沢1丁目4番15号 真井ビル5階 TEL:03-5712-3770 FAX:03-5712-3771 http://www.foryou.or.jp/



“心のバリアフリー”を クリエイティブに実現する

NPO法人

ピープルデザイン研究所 代表理事

須藤 シンジ

22年前に次男が脳性麻痺で出生したことを機に、図らずも障害者の家族であり行政サービスの受け手という環境に身を置く立場になりました。当時、福祉の世界では「バリアフリー」が叫ばれていましたが、それは“物理的なバリア”に主眼が置かれたものでした。しかし、息子ないし息子と同じような境遇に置かれている人たちが将来自立して生活することを考えた時に、本当にそれだけが問題なのかと疑問を抱きました。段差や階段などの“物理的なバリア”よりも、健常者に代表されるマジョリティ(社会的多数派)と、障害者のみならずマイノリティ(社会的少数派)と呼ばれている人たちの間にある、目に見えない“心のバリア”こそが、大きな問題だと思い活動をスタートしました。

現在私たちは、“心のバリアフリー”をファッション・デザインや、映画・音楽などのエンターテインメントの力を使い、クリエイティブ(創造的)に実現する思想や方法として「ピープルデザイン」という概念を提唱しています。この考え方を活用して、渋谷区や川崎市等の行政と連動し、多様な人たちが自然に混ざり合う、ダイバーシティな社会の実現を目指した街づくり活動を推進しています。

渋谷区で展開しているそのひとつが、毎年春と秋に商店街を道路規制して行っている「ピープルデザインストリート」です。渋谷区神宮前二丁目

商和会とのコラボレーションで開催しており、2017年10月で7回目を迎えました。2020年には新国立競技場への出入り口となる商店街の軒先で、老若男女・ハンディの有無にかかわらず誰でも楽しめる様々なイベントを行っています。

もうひとつの象徴的なイベントが、「超福祉展(正式名称:2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展)」です。障害者をはじめとするマイノリティや福祉そのものに対する「心のバリア」を取り除こうと、2014年より毎年11月の1週間、渋谷ヒカリエを中心に開催しています。この展示会では、思わず「カッコイイ」「カワイイ」と使ってみたくなるデザイン、大きなイノベーションを期待させてくれる「ヤバイ」テクノロジーを備えたプロダクトの展示・体験に加え、従来の福祉の枠に収まらない魅力的なプレゼンターたちが登場するシンポジウム、多彩なワークショップなど、さまざまな企画を展開しています。今年2017年は渋谷の街中に開催場所を広げ、合計9会場で同時多発的にイベントを実施しました。

これからの社会は福祉を志す若者、福祉社会の一旦を築いている団体ひとりひとりができる具体的な提案に唯一の未来があると思っています。みなさんができるサステナブル(持続可能)な社会にできる方策を近い方のために時間と体を使って提案して欲しいと思っています。





Activities Introduction〈活動紹介〉

より良い地域福祉をめざして。

私たちは地域の方々が安心して住み続けられるよう、さまざまな工夫を続けています。その中で、各事業所の実施している活動の様子を事例でご紹介いたします。

地域包括ケア ～港区立地域包括支援センター白金の森の取り組み～

■ 介護予防リーダー・介護予防サポーター“男子部会”発足！

港区は高齢者が地域で元気に暮らしていけることを目的とし、ボランティアを養成しています。介護予防リーダーは、地域で介護予防活動を主体的・積極的に担い、そして介護予防サポーターは区や関係機関が実施する介護予防の行事等を補助しています。

部会発足 「ボランティア参加に消極的な男性高齢者をどうしたら地域活動へ参加してもらうことができるのか？」高輪地区の介護予防リーダーとサポーター、白金の森包括をはじめとした各関係機関と共に話し合い“男子部会”を発足しました。まずは「高輪地区いきいきフェスタ」で男性を集める企画を実施しました。

企画実施 男性が好むキーワードは3つ！「外出」「計画作業」「知的好奇心」!!介護予防リーダー・サポーターのうち5名の男性に参画して頂き、「自然教育園散策ツアー」を企画・開催。当日は13名中5名が男性高齢者。過去の介護予防系企画では1～2割しかいなかった男性参加率が、3割以上になりました。参加者の満足度は高く、企画に参画した男子部会の皆さんも確かな手応えを感じて満足されていました！

今回の成果を糧に今後も「男子部会」とともに男性高齢者の地域活動参加支援を継続して、「高齢者が男性も女性も元気な港区」を目指して頑張ってください！

INTERVIEW

私はリーダー資格を頂いてから約1年です。スポーツや運動と無縁だった中高年の方々に参加を促すこと＝介護予防と考えます。このような男性の方にいきいきプラザなどへの参加を募る方法を考える事、まさしく喫緊の課題と考えます。男子部会では健康問題に限らず、男性が興味を持つようなセミナーなど企画できればと思っています。

井上 清紀さん

今できることを、と考えた時に地域の方の役に立ちたいという思いで参加しました。いきいきフェスタの企画に参加することで、地域のみなさんが陰で頑張っていることを知りました。また、集まった人が笑顔で、楽しかったという声を聞いて良かったです。これから何らかのかたちで地域に貢献していきたいと思ひます。

山崎 範夫さん

私たちが
ご報告
します！

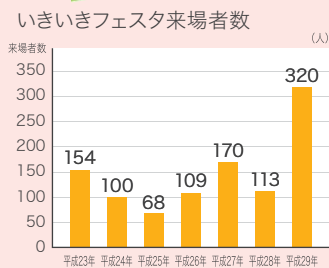
▶▶▶ 東京都港区

港区立地域包括支援センター白金の森
(高輪地区高齢者相談センター)



高輪地区いきいきフェスタ

毎年開催している介護予防啓発イベント。高輪地区の介護予防リーダーやサポーターを中心に、いきいきプラザ4館と高齢者相談センター・ふれあい相談室が地域の方々の支援・協力も得て、1年間をかけて企画する一大イベントです。



奉優会の

取り組み

小規模多機能で

小規模多機能介護で医療連携の事例

医療機関との連携で在宅生活の継続を支援する

奉優会の小規模多機能では顔なじみの介護と医療の専門職が、ご本人の残存能力の維持と在宅生活継続を支援させていただきます。優つくり小規模多機能介護三軒茶屋で「癌」と診断された認知症のご利用者を医療と連携しながら支援し、余命宣告からの回復につながったケースをご紹介します。

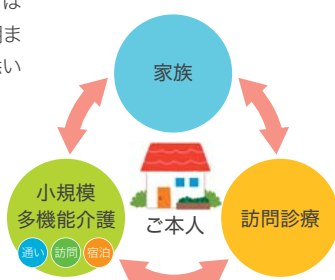
T様、74歳女性。アルツハイマー型認知症。甲状腺癌、胆管癌(末期状態)、移行性腰椎腫瘍と診断。ご本人は「独りは嫌。みんなと居れば寂しくない。」ご家族は「家にいると一人の時間ができてしまう。優つくり村の仲間と母親らしく最期まで過ごしてほしい」と希望されました。痛みの緩和のために、施設に医師の往診や施設の看護師による、24時間寄り添いケアの実施、「まるで自宅」「だけど安心」を提供したことにより、病状も改善され、安心して在宅生活を送られています。

信頼するスタッフと施設で過ごさせたいという家族の思いがあり、それに、あきらめずにできること、関わり方のニーズを捉えた療養生活を作る優つくり村職員のみなさんと一緒に症状緩和に取り組みました。スタッフの丁寧な関わり方により、本人の笑顔もみることができました。

桜新町アーバンクリニック 遠矢 純一郎先生



優つくり小規模多機能介護
三軒茶屋(世田谷区)



認知症対応 ～イベント参加で地域交流～

■ 地域と共にある施設 開催場所: 目黒区田道小規模多機能型居宅介護事業所



目黒区田道小規模多機能では「認知症になっても地域で暮らし続けること」を目的として、目黒区で開催される様々なイベント(桜祭り、商工会祭り、SUNまつり、田道町会祭りなど)へ、利用者様と一緒に参加しています。イベントの参加の際は主に田道住区センター職員の方々と協力しながら準備を進めています。

その中でも、今回は商工会祭りに参加した際の様子をご紹介します。商工会祭りには商工会スタッフの方からお誘いいただき、事業の紹介も兼ねて企業ブースに参加いたしました。介護相談の窓口だけでなく、地域の方と交流を図る目的で食べ物を提供するお店を開くことになりました。事前の打ち合わせに参加された認知症の利用者様からは「作り置きを販売するより、その場で作った方が匂いに誘われて人が来るよ」と提案があり、その場でペーパーカステラの手作り販売をすることになりました。当日、匂いに誘われてくるという言葉の通りに「良い匂いがする」と多くの方が立ち止まり、普段はコミュニケーションの苦手な利用者様も「いらっしやいませ」と大きな声を出されて販売をされていました。「また買いに来ちゃった」とお客様から言われると、利用者様も「たくさん食べて下さい」と笑顔で受け答えされていました。また終了後も「イベント楽しかった」「お話が出来て嬉しい」などと普段見られない表情で話されていました。

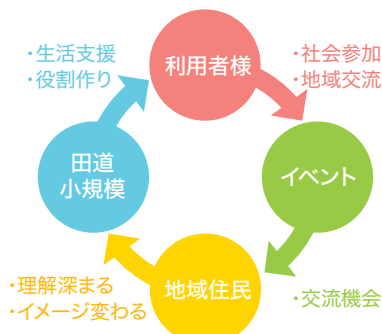
地域密着型事業は施設周辺の地域が舞台です。本人が持っている能力を見極め、役割分担をする事で、認知症になっても地域で活躍できることを日々感じています。今後もこのような地域交流を続けていくことで、地域全体で認知症の方への理解が深まり、地域で認知症の方を支えていく仕組みを作り上げていきたいです。

私たちは大きなイベントだといついつい頑張ってしまうが、利用者様をみていると息の抜き方や力の抜き方を教えてもらえる。認知症になったり、衰えて色々出来なくなってしまった話を聴くと「大変だ、私も将来どうなるんだろう」と不安に感じていましたが、スタッフと利用者様が自然に関わる姿をみて、生活に合わせた支援、役割作りなどがとても重要なんだなと感じました。田道小規模の皆さんは私たちの将来の道筋を見せてくれていると思います。



田道住区センター
長井 輝子さん

■ 交流イベント参加イメージ



▲ 利用者様インタビュー ▲

みんなで色々試して作ったペーパーカステラがとても美味しかったですし、たくさんの方に買っていただいて楽しかったです。久しぶりに知り合いにも会えました。



社会参加活動 ～広がる社会参加の輪～

奉優会では地域交流の懸け橋となるべく様々なイベントを開催しております。皆様の社会参加を支援し、地域の活性化に寄与します。

■ 楽しんで覚えよう!!「初めての手話講座」

開催場所: 亀戸ふれあいセンター(江東区)

亀戸ふれあいセンターでは、平成29年4月から毎月1回「手話を楽しむ学ぶ」をコンセプトに「初めての手話講座」が始まりました。

講座誕生のきっかけは、本講座の講師を務め、自身も聴覚障害を持つ月光(つきみつ)氏の「手話を身近なコミュニケーション手段としてとらえてもらいたい」という思いからでした。この思いが形となり、20名を超える方が参加する人気講座となりました。

講座の前半は手話での挨拶と自己紹介、その後、様々な場面を想定した手話の実技、後半は手話で歌を歌いながら楽しく学んでいます。



そして、せっかく学ばれた手話を披露する場も必要と考え、当センター主催の地域交流『亀戸にこここまつり』で受講生が観客のみなさんと一緒に手話で歌う「手話で歌おう!」を開催。お祭りを盛り上げるとともに受講生のモチベーションも一挙に高まりました。

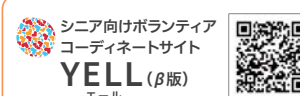
今後は受講生が地域で活躍できる場をコーディネートしていく予定です。



ボランティア
インタビュー

手話を学ぶには、動作の意味を理解する必要があるので、ひとつひとつ丁寧に説明するようにしています。講座では、歌や会話を楽しみながら手話を使うことで、飽きずに学べる工夫を凝らしています。教えるということは難しいと感じることも少なくありませんが、受講者の楽しそうな笑顔にやりがいを感じています。

手話講座ボランティア講師 月光 弘子(つきみつ ひろこ)さん



<https://www.foryou-yell.net/>

私が
ご報告
します!

▶▶▶ 東京都目黒区

目黒区田道小規模多機能型
居宅介護事業所

責任者 大森 和江





働きやすい **職場環境** の取り組み



奉優会は女性の活躍を推進しています！

今年度も育休中の多くの女性職員がお子さんの保育園入園を機に復職しました。本年度現時点で、**復職率は100%!**一人も退職者を出すことなく、仕事復帰して頂きました。

毎号、育児をする女性をバックアップする奉優会独自制度を利用して復職した職員を紹介しています。奉優会職員のすごいところは、こういった制度を活用し短時間勤務で母や妻としての生活も維持しつつ、職場でも部長や課長など重責を担う役職につき、成果をあげている職員が数多くいることです。今回もその一例として、復職した職員から仕事と生活の両立についてお話を聞いてみました。



職員 高部 裕美子さん

白金台いきいきプラザ

奉優会に入職して3回の産休・育休をいただきました。第2子は切迫早産で2か月入院、第3子はハイリスク妊婦のため安静を余儀なくされ、上司に相談し、早めに産休に入らせていただきました。赤ちゃんのことを一番に考え、お休みさせていただき、無事に出産できたことに今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

復帰後は時短勤務ながら、責任のある仕事を任せて頂き、一緒に働く仲間にも恵まれ、とても充実した日々を送っています。子供の病気等も多々ありますが、その都度上司に勤務形態等を相談し、なんとかここまで仕事を続けてくることができました。まさか子供が3人いて働いているとは思っていませんでした!一緒に働く仲間や上司、法人の理解があってこそのことだと思います。まだまだ試行錯誤の日々ですが、これからも仕事も育児も楽しく頑張りたいです!

南中野地域包括支援センター

病院勤務を経て地域包括支援センターへ入職し、3年目に出産・育児の為休暇を頂き、子供が1歳2か月の時に復職しました。初めての出産・育児に対し、事務局や職場の方々に支えられ今も仕事を続けられています。私の住んでいる所は待機児童激選区でもありましたが、for優キッズサポートによる補助があるため、認可保育園と同じくらいの費用で安心して認定園に入園できました。復職後は時短勤務制度の利用や、突発的なお休みをいただく場合もありますが、会議の開催時間や情報共有の徹底など、職場の仲間には多くの配慮をいただけて非常に感謝しています。子育てと仕事の両立は初めは不安でしたが、ワーク・ライフ・バランスへ取り組んでいる法人だからこそ、充実した日々を過ごせています。



保健師 所 久美さん

女性管理職比率**44%!!**

女性職員が活躍する場の創出と積極的な登用

政府が「働き方改革」を掲げる中、平成28年4月に「女性活躍推進法」を施行し、「2020年までに女性管理職の割合を30%に」と目標を掲げ、2年目を迎えています。

奉優会は女性が働きやすい環境を整備し、その能力が発揮できる体制を整え、女性職員が活躍する場の創出と積極的な登用を行ってきました。その結果、平成29年度には女性管理職(部長も含む課長以上。)の比率が**44%**に達しました。部長だけの比率も**42%**です。

原動力は女性職員。今後も女性職員が活躍できる体制を築き上げていきます。

取り組みの成果



くるみん

厚生労働省が「子育てサポート企業」として認定する制度です。



トモニ

厚生労働省が「仕事と介護を両立できる職場環境」として認める制度です。

for優キッズサポート

時短延長勤務

ママさんサポートブック

定期健康診断

For優ケアサポート制度

ウェルカムバック制度

活力ある人材

平成30年度(2018年3月卒) **新卒募集!**

“高齢者が好き”という気持ちが、この仕事への第一歩
多彩な専門職の先輩たちが知識や技術をゼロからお教えします。

奉優会のここが違う!!

年間休日**122日!**

サークル活動が盛ん!

多彩なキャリアプラン!

充実した研修制度!



■ 法人説明会 随時開催!

・管理本部(世田谷区駒沢)

■ 施設見学会 随時開催!

- ・等々力の家(世田谷区等々力)
- ・白金の森(港区白金台)
- ・マイホームはるみ(中央区晴海)
- ・奉優の家(足立区佐野)
- ・かわいの家(横浜市旭区)

連絡先

人事部 人事課新卒採用担当

TEL:03-5712-3770

E-mail:jinji@foryou.or.jp

HP: <http://kaigo.foryou.or.jp/graduate/>



応募お待ちしています!



奉優会で働く



奉優会は様々な高齢者福祉事業から地域福祉事業へ展開しています。地域福祉で私たちと一緒に働きませんか。

今号は奉優会の高齢者施設事業部(優っくり村)とそこで働く職員をご紹介します。

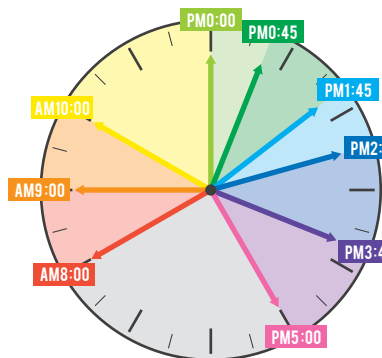
高齢者施設 (優っくり村) 事業部紹介

高齢者施設事業部は、「ゆっくり・一緒に・楽しく」をコンセプトに、「小規模多機能型居宅介護」「グループホーム」「単独型ショートステイ」「地域密着型特別養護老人ホーム」「ケアハウス」の5つの事業を運営し、幅広く高齢者を支えています。特に、高齢者が持っている力を、地域貢献へコーディネートする活動に力を入れています。

想像力がとても大切で、認知症や障害があってもちょっとしたアイデアで「支え手」として活躍されます。その活動を通じて、支えなければならない人という高齢者の負のイメージや、地域の中で高齢者へ目を向けてくれる人が少しでも増えてくれればと思い活動しています。

1日の業務スケジュール

フォーエシオショートステイ淡路
介護職員 杉本 りな



利用者様と
笑顔を共有できる
お仕事です!



AM8:00 出勤

・朝食・配膳・服薬
・口腔ケア・排泄

AM9:00 朝礼

・申し送り(入所・退所の確認)
・退所者荷物チェック

AM10:00 退所対応

・配茶・レクリエーション
・ケース入力

PM0:00 昼食

・配膳・服薬・口腔ケア・排泄

PM0:45 休憩

PM1:45 入所対応

・入所者荷物チェック

PM2:30 おやつ

・レクリエーション
・イベント・排泄

PM3:45 ケース入力

PM5:00 退勤

※運番は9:30~18:30、その他、入浴介助、相談員業務の場合はスケジュール変更あり

キャリアアップ経緯

優っくり小規模多機能介護池尻 和田 直大
課長職(事業所責任者)

平成24年5月 優っくり小規模多機能介護池尻

・勤務しながらヘルパー2級取得

パート
契約職員

平成25年5月 優っくり小規模多機能介護池尻

・新人職員の教育担当や営業活動の一環としてのホームページの更新業務など

STEP UP!
フルタイム
契約職員

平成25年9月 優っくり小規模多機能介護三軒茶屋

・スケジュール管理、電話対応、企画作成、後輩育成

STEP UP!
正職員

平成28年1月 優っくり小規模多機能介護三軒茶屋

・シフト作成、経理業務、地域交流企画担当、研修開催

STEP UP!
主任

平成29年8月 優っくり小規模多機能介護池尻

・施設運営管理、サービス業績管理、プロジェクト運営、人事・労務管理、自治体・地域・関係機関との調整

STEP UP!
課長

“高齢者が好き”という漠然とした気持ちだけで入職し、その気持ちは徐々に“高齢者を支えたい”という責任感へと変わっていきました。そんな気持ちへ変わっていったのも奉優会のキャリアアップ制度のおかげです。日々楽しくやりがいを感じています。頑張ればしっかりと評価してくれる法人の仕組みもやがての源の一つです。奉優会のおかげで今の私がいます。本当に感謝しています。



高齢者施設事業部 (優っくり村)

躍進する高齢者施設事業部



高齢者施設事業部では平成23年10月に優っくり村池尻の開所を始めとして、グループホーム8カ所、小規模多機能介護8カ所、地域密着型特養が1カ所、単独型ショートステイ2カ所、ケアハウス1カ所の運営をさせていただいております。今後についても、新規事業の開設予定が(グループホーム3カ所、小規模多機能介護4カ所、地域密着型特養2カ所)あり、事業所責任者としてキャリアアップをして働くチャンスが多くあります。

新規事業の責任者としてキャリアアップする際には、事業部内委員会である「立ち上げ支援チーム」「健全運営チーム」など先輩事業所責任者が、開設準備・職員採用・事務作業の支援・営業・各種フォーマット作成など開設前から開設後も安定した運営をフォローアップする体制となっています。



Pick Up!

求人
内容

所 属: 高齢者施設事業部
勤務先: 世田谷区・練馬区・杉並区・新宿区・千代田区・中央区
目黒区・港区・渋谷区・町田市
内 容: 小規模多機能介護・グループホーム・ショートステイ
地域密着型特養・ケアハウス
TEL: 03-5712-3770 管理本部人事課

求める
人材

・情熱をもっている人・笑顔が素敵な人
・何事にも挑戦できる人・前向きな人
・人と接するのが好きな人・心優しい人

奉優会求人サイト



詳しくは
こちらへ!

<https://kaigo-foryou-job.jp/>